

設置工事説明書

Xテンリョクソクテイー 2 P
電力測定ユニット（マルチ計測ユニット）

型式名 E M - 0 2

0 N 0 0 1 8

1．安全上のご注意

—— 表示について（表示の意味は次のようになっています） ——

△注意

作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△注意

工事される方へのお願い

■

機器を正しく安全にご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行ってください。

■

本品を指定する機器に使用してください。

■

電源・アース工事には、電気工事士の資格が必要です。

■

設置工事法律・基準（電気設備技術基準、電気工事士法、内線規定）に従ってください。

■

マルチ計測ユニット本体の取り付けが完了するまで、熱源機本体の電源プラグはコンセントに差し込まないでください。

■

マルチ計測ユニット取り付け時は、必ずサービスブレーカー（ある場合）と、漏電（主幹）ブレーカーを落としてください。

■

本品は屋内専用製品です。屋外には設置しないでください。

■

電流センサーは、外径φ15mm以下の電源線に対応しています。計測する電源はAC100V、電流は100A・電力は20kWまで測定可能です。

△注意 工事前のご注意

■下記の場所には取り付けしないでください。

- 1．温度の高くなるところ

5．油のかかるところ
- 2．直射日光のあたるところ

6．幼児の手の届くところ
- 3．湯気のかかるところ

7．浴室
- 4．水しぶきのかかるところ

■ネジを締め付ける際、強く締めすぎますと、破損する恐れがあるため、インパクトドライバーは使用しないで下さい。

■配線等にガス会社指定品がある場合は、指定品を使用してください。

2．部品の確認

■梱包内には本書の他に、下記の部品が入っています。取り付け前にご確認ください。

マルチ計測ユニット

電流センサー（2個）
※壊れやすいので取扱には注意してください。

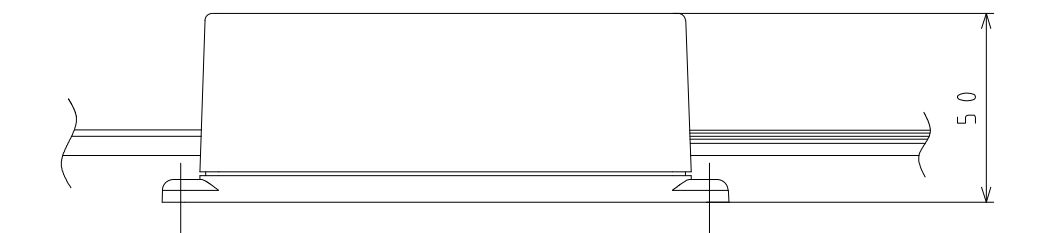
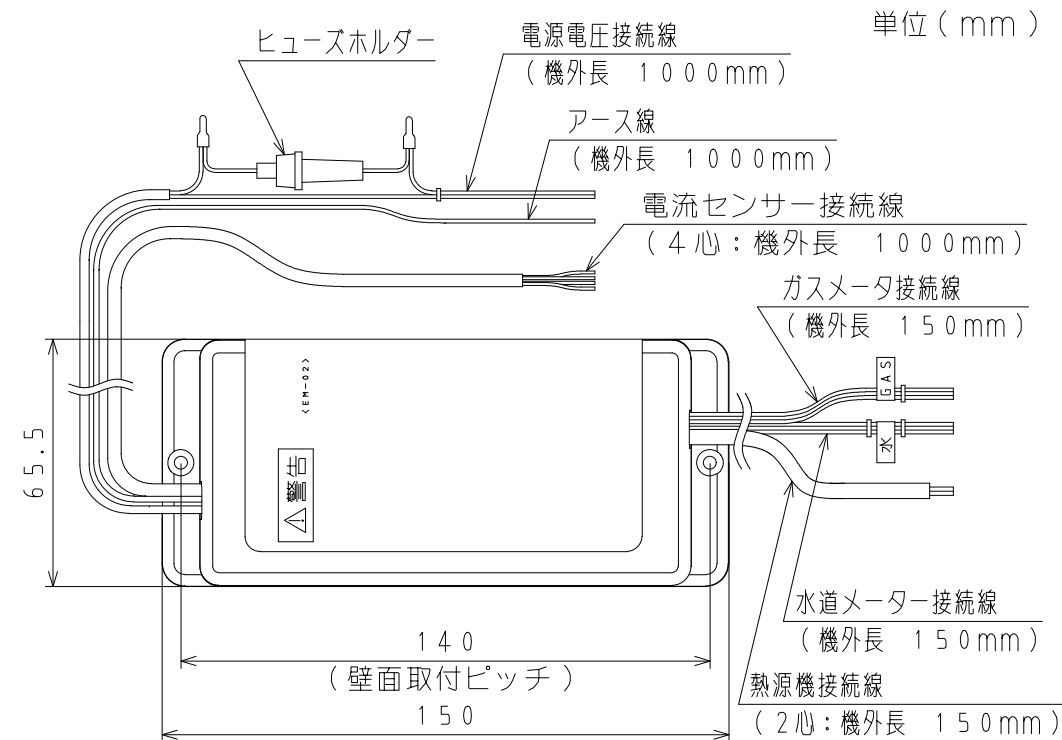
丸木ネジ（2本）
φ3.5×16

開端接続端子（6個）

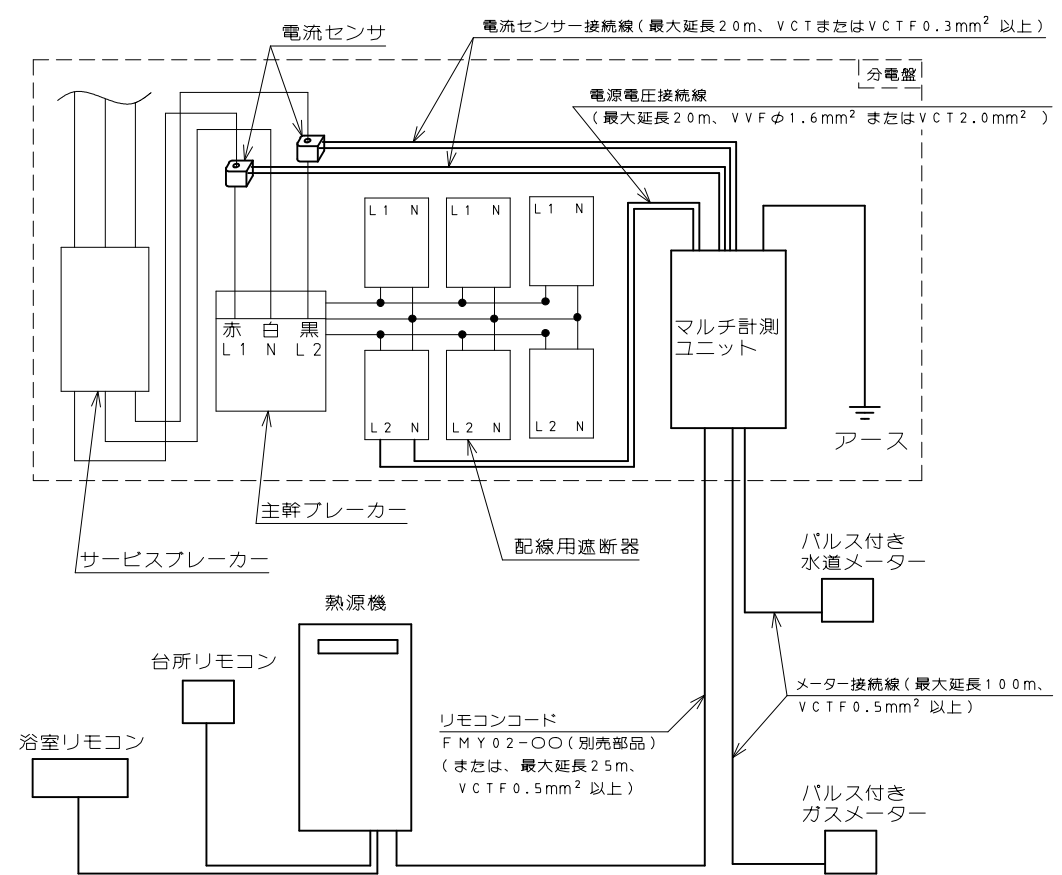
束線バンド（3本）

設置場所確認ラベル（1枚）

3．外形寸法図



4．システム図



電源電圧接続線の配線及びアース線の配線は電気工事となります。
電源電圧接続線の配線、アース線の配線は電気工事士の資格が必要です。

5．取付方法

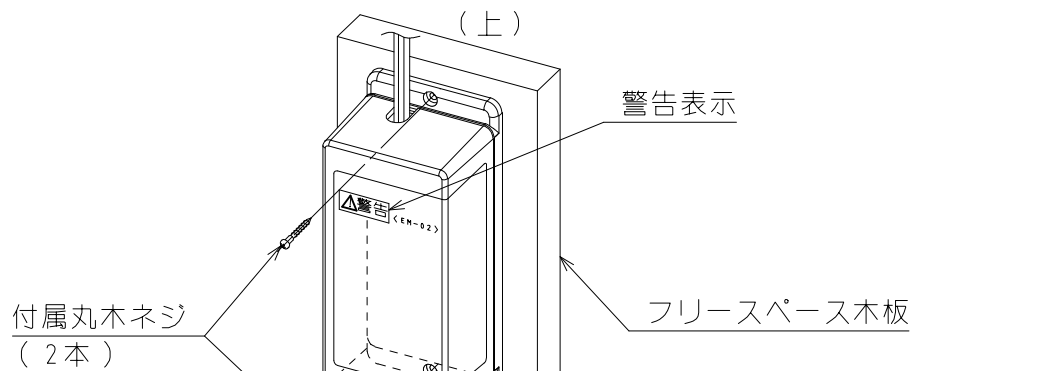
※設置には機器取り付け可能なフリースペースのある分電盤をご用意してください。

・設置用の分電盤は、下記型式のものを推奨いたします。
パナソニック株式会社：「BQRF3***シリーズ、BQRF8***シリーズ」
河村電器産業株式会社：「CLF-FLシリーズ、CNF-FLシリーズ」

※本製品は分電盤のフリースペースに取り付けてください。
※各リード線の接続部が分電盤外に出てしまう場合は、接続部が露出しない様にケースまたはカバーなどで保護してください。

1．分電盤内に取り付ける場合

（1）分電盤のフリースペース内の木板に、付属の丸木ネジ（φ3.5×16）2本でマルチ計測ユニットを固定します。
マルチ計測ユニットは銘板の警告表示が上になる様に、取り付けてください。



2．分電盤外に取り付ける場合

（1）やむを得ず分電盤外に取り付ける場合は、取り付けスペースとして左右上下50mmずつ確保してください。



6．電線の接続

1．電源電圧接続線の配線

※電源電圧接続線の配線は有資格者（電気工事士）が行ってください。

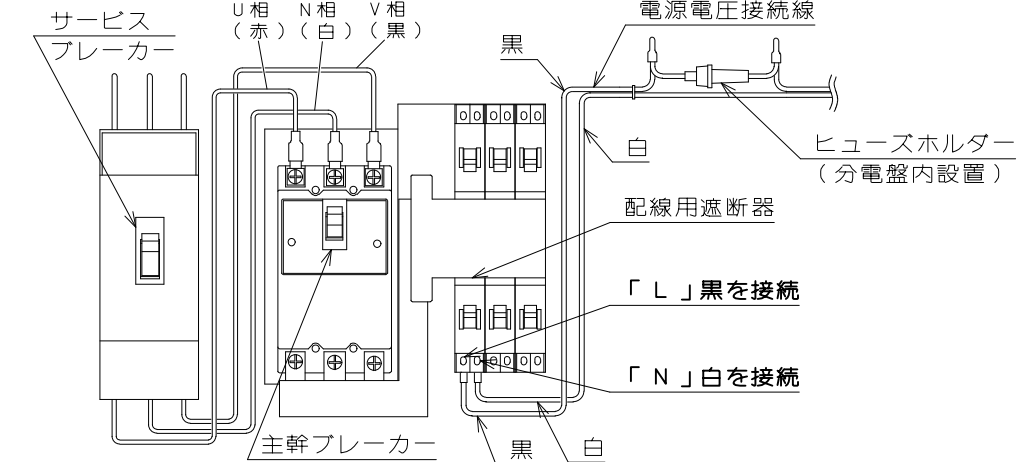
※電源電圧接続線を延長する場合、延長ケーブル〔現地調達品、VVFφ1.6mmまたはVCT2心2.0mm²、最大20mまで〕を接続してください。
※電源電圧接続線の延長接続に際しては、リングスリーブ（現地調達品）を専用工具で圧着するなど内線規定に従い接続してください。また接続部は必ず絶縁処理を施してください。
※電源電圧線のヒューズホルダーは、必ず分電盤や機器収納ボックス内に収めてください。
※電源電圧線の長さに余裕がある場合、加工することで線長を短縮することは可能ですが、ヒューズホルダーが必ず分電盤内に収まる様に加工してください。
※電源電圧線の接続は、専用に割り当てた配線用遮断器に接続してください。また分電盤に2次送りの端子がある場合は、2次送りの端子への接続もできます。

●单相3線式の場合

※单相3線式の場合は、U相・V相のどちらでも接続することが可能です。

（1）電源電圧接続線を分電盤の配線用遮断器に、下図のように配線します。
（2）「白」線は配線用遮断器の「N」に接続します。
（3）「黒」線は配線用遮断器の「L」に接続します。

※L・Nは配線用遮断器の表示、または配線用遮断器の説明書で確認してください。
※電源電圧線を200Vの配線用遮断器に接続すると故障の原因となりますので、配線の接続箇所が正しいことを確認してください。
※配線が長い場合は、付属の束線バンドで束ねて、分電盤の中に収めてください。
※電源電圧線を配線用遮断器へ接続する場合は、絶縁棒状圧着端子（2個・現地調達品）が必要となります。ご使用になる配線用遮断器に適合した絶縁棒状圧着端子を確認し、取り付けを行ってください。
推奨分電盤対応の絶縁棒状圧着端子・型式：TC-2-20【ニチフ製】
BB9924【パナソニック製】



●单相2線式の場合

（1）電源電圧接続線の「白」と「黒」を单相3線式と同様に接続してください。

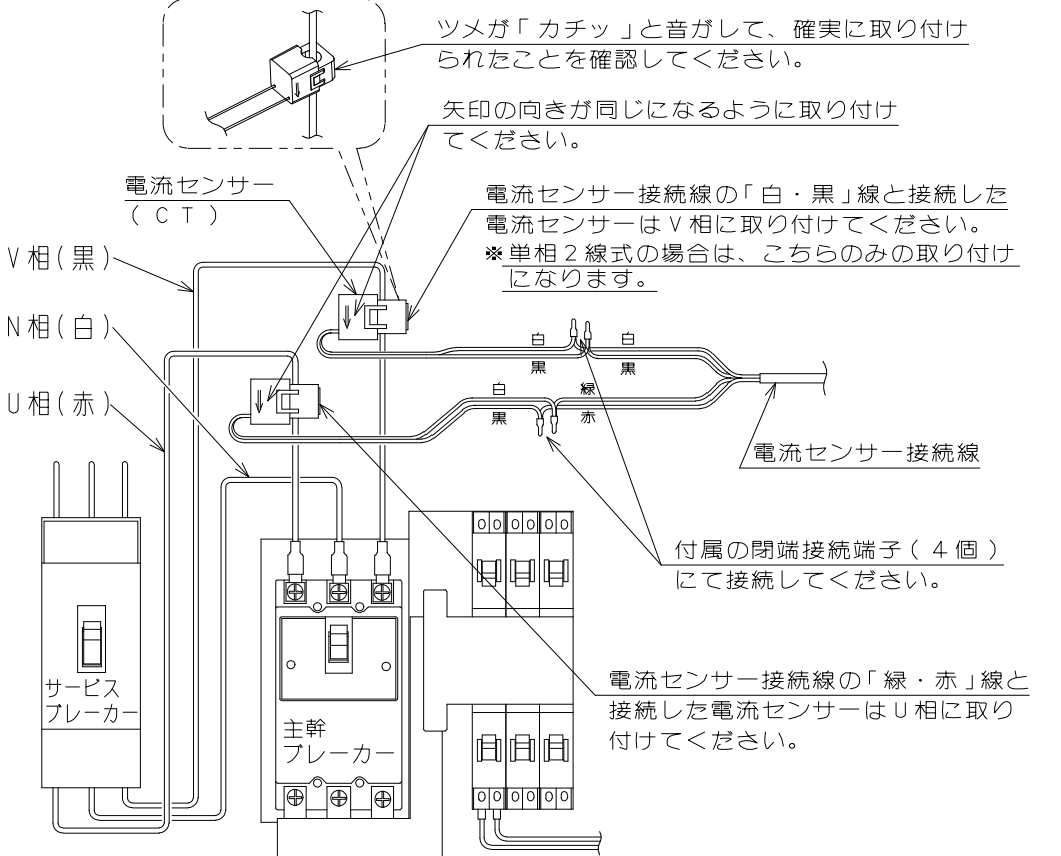
2．電流センサー（CT）の接続

※電流センサー接続線を延長する場合、延長ケーブル（現地調達品、VCTまたはVCTF4心、0.3mm²以上、最長20mまで）を接続してください。
また配線色が〔白・黒・緑・赤〕のものを使用してください。
※配線にVCTFを使用する場合は、強電線と接触しないように樹脂管（現地調達）で保護してください。
※電流センサー（CT）に、強い衝撃を与えない様に取り扱いに注意してください。
※電流センサー（CT）は、サービスブレーカー（ある場合）の下流側に取り付けてください。

●单相3線式の場合

（1）電流センサー接続線と電流センサー（CT）のリード線を、付属の開端接続端子（4個）で接続します。
（2）電流センサー（CT）を主幹ブレーカーのU相、V相に取り付けてください。

※電流センサー接続線の「白・黒」線と接続した電流センサはV相に取り付けてください。「緑・赤」線と接続した電流センサーはU相に取り付けてください。
※電流センサー接続線と電流センサーのリード線を接続してから、電流センサーを取り付けてください。
※2つの電流センサー（CT）の矢印の向きが、同じになるように取り付けてください。
※電流センサーのツメが「カチッ」と音がして、確実に取り付けられたことを確認してください。



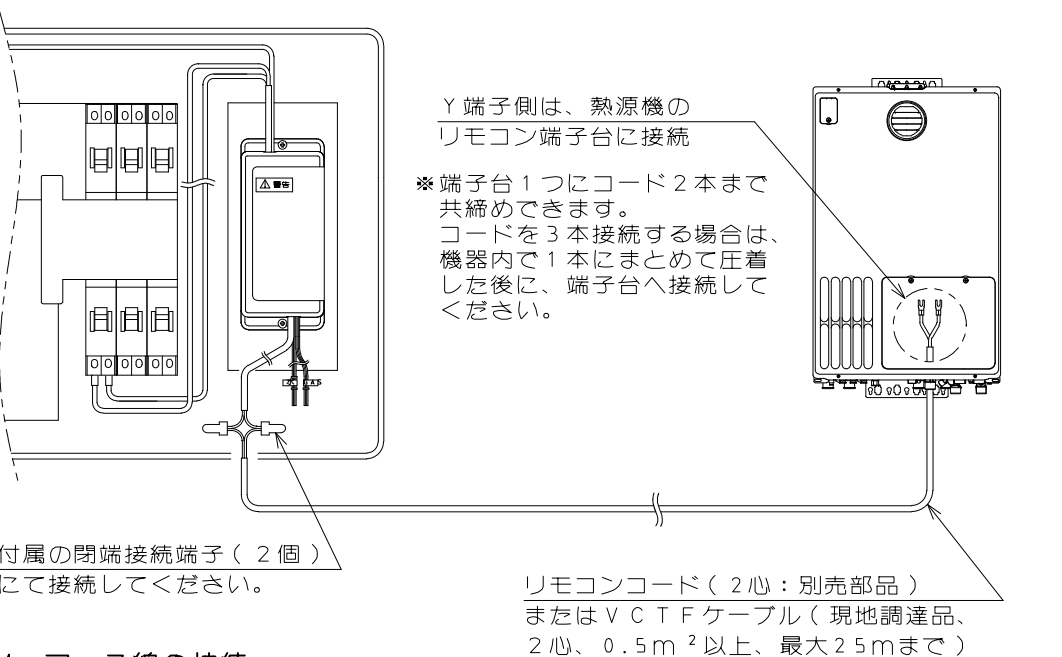
●单相2線式の場合

（1）電流センサー接続線の「白・黒」と、電流センサー（CT）のリード線を付属の開端接続端子（2個）で接続してください。
※電流センサー接続線の「緑・赤」は使用しない為、絶縁処理を施してください。
（2）電流センサー（CT）を主幹ブレーカーのV相（黒）のケーブルにのみ、取り付けてください。

3．熱源機との配線

※リモコンコードは、FMY02-00シリーズ（別売部品）を使用してください。またはVCTFケーブル〔現地調達品、2心、0.5mm²以上、最長25m〕をご用意ください。（この場合熱源機のリモコン端子台との接続に、Y端子（2個・現地調達品）が必要となります。）
※リモコンコードの長さは、25mまでとしてください。
※リモコンコードは、他の線と束ねないでください。
※ガス会社指定品がある場合は、ガス会社指定のケーブルを使用してください。

（1）マルチ計測ユニットの熱源機接続線と、別売のFMY02リモコンコードまたはVCTFケーブル（現地調達品）を付属の開端接続端子（2個）にて接続します。
（2）リモコンコードのY端子側は、熱源機のリモコン端子台に接続します。VCTFケーブル（現地調達品）の場合は、Y端子（2個・現地調達品）を取り付けた後に接続します。



4．アース線の接続

※アース工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。

（1）分電盤にアース端子台がある場合には、マルチ計測ユニットのアース線（緑）を分電盤内のアース端子に接続します。
（2）分電盤にアース端子台がない場合は、電気設備に関する技術基準による0種接地工事（接地抵抗100Ω以下）を行なってください。

※アース線を分電盤内のアース端子台へ接続する場合は、絶縁棒状圧着端子（1個・現地調達品）が必要となります。ご使用になるアース端子台に適合した絶縁棒状圧着端子を確認し、取り付けを行ってください。
推奨分電盤対応の絶縁棒状圧着端子・型式：TC-2-20【ニチフ製】
BB9924【パナソニック製】

7．パルス付メーターとの接続

※ガスおよび水道メーター接続線用の延長ケーブル（現地調達品）は、VCTFケーブル〔3心、0.5mm²以上、最長100mまで〕をご用意ください。また配線色が〔赤・白・黒〕のものを使用してください。
※配線の接続部が屋外に出てしまう場合は、防水処理を施してください。
※各パルス付きメーターは、パルス出力形態が「2線式・無電圧a接点方式および2線式・オープンコレクタ方式、または3線式・無電圧c接点（リードスイッチ）方式」に対応しております。
※各パルス付きメーターのパルス仕様が、1L/Pのものは接続できません。
※パルス付きメーターを接続しない場合は、必ず接続線の絶縁処理を行ってください。

1．パルス付ガスメーターの接続

※接続するガスメーターは、下記型式のものを推奨いたします。
・アズビル金門（株）パルス発信器付きガスメーター「NDS-NB4、NDS-NB6」「NDS-NLB4、NDS-NLB6」。
※配線の接続部がパイプシャフト内に来る場合は、該当する市町村の「火災予防条例」に従ってください。

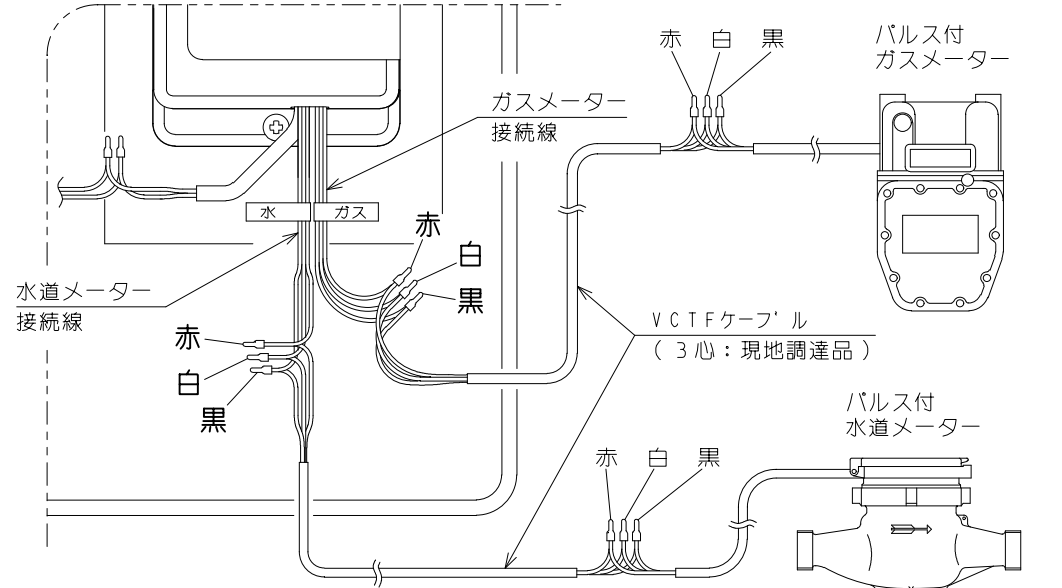
（1）マルチ計測ユニット側のガスメーター接続線に、VCTFケーブル（現地調達品）を開端接続端子（3個・現地調達品）にて接続します。
この時配線色が同じになる様に接続してください。
（2）（1）で接続したVCTFケーブルの反対側を、パルス付ガスメーターのパルス出力線に配線色が同じになる様に接続します。

2．パルス付水道メーターの接続

※接続する水道メーターは、下記型式のものを推奨いたします。
・パルス出力線3線式：アズビル金門（株）電子式水道メーター「EKDAシリーズ」「EKDLシリーズ」。
・パルス出力線2線式：愛知時計電機（株）接点パルス出力式水道メーター「FMDS-Ⅲシリーズ」。

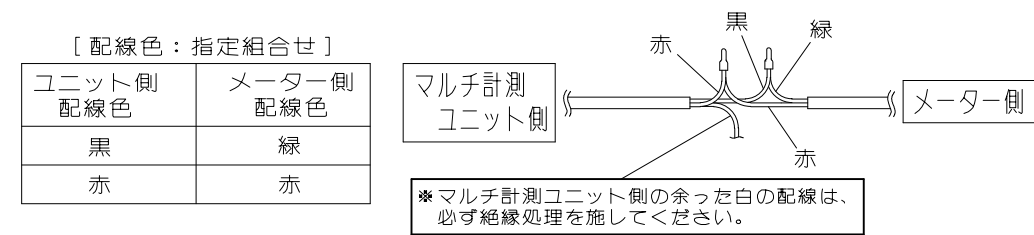
●パルス出力線が3線式の場合

（1）マルチ計測ユニット側の水道メーター接続線に、VCTFケーブル（現地調達品）を開端接続端子（3個・現地調達品）にて接続します。
この時配線色が同じになる様に接続してください。
（2）（1）で接続したVCTFケーブルの反対側を、パルス付水道メーターのパルス出力線に配線色が同じになる様に接続します。



●パルス出力線が2線式の場合

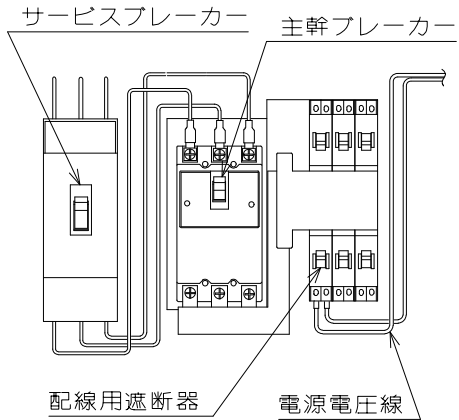
（1）メータ側のパルス出力線が2線式の場合の配線色の組み合わせは、下記に示す内容を確認して、開端接続端子（2個・現地調達品）にて接続してください。
（2）マルチ計測ユニット側の配線は、黒と赤のみをメーター側のパルス出力線と接続しますので、接続しない白の配線は確実に絶縁処理を行ってください。



8．パルスレートの設定と試運転

1．通電

- （１）サービスブレーカー（ある場合）および主幹ブレーカーを「入」にします。
- （２）続いて、マルチ計測ユニットの電源電圧線が接続された配線用遮断器を「入」にします。



2．パルスレートの入力

※通電後にパルスレートの入力画面が表示されない場合は、誤配線などが考えられます。
「3．試運転」の「●エラー表示について、（２）」を参照して確認してください。

※パルスレートの設定は、台所リモコンにて行います。
（パルス付ガスメーターとパルス付水道メーターの両方、またはどちらかを接続した場合）

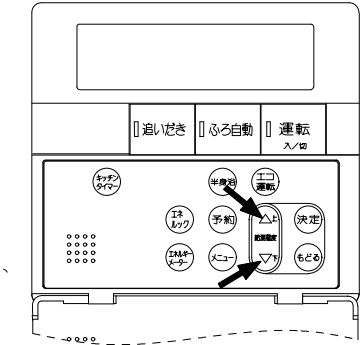
※入力するパルスレートは、お客様の設置致しましたパルス付ガスメータおよびパルス付水道メーターにてご確認ください。
（メーターのパルスレートと、リモコンの表示は下表を参照してください。）

パルスレート	10L/P	100L/P	1000L/P
リモコン表示 m ³ /P	1.00×10 ⁻²	1.00×10 ⁻¹	1.00×10 ⁰

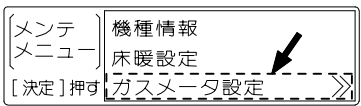
※パルスレートの入力前に、ご使用になるリモコンの取扱説明書を参考に、時刻と日付（高機能リモコンのみ）の設定を行ってください。

●高機能リモコンでのパルス設定方法

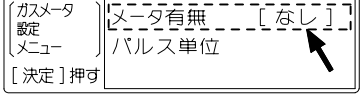
- （１）リモコンの扉を開き、運転のON/OFFに関わらず、△ボタンを5秒以上押し続けると、「メンテメニュー」画面が表示されます。



- （３）「ガスメータ設定メニュー」画面が表示されたら、「メータ有無」を選択して決定ボタンを押します。

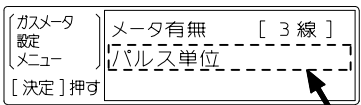


- （４）「メータ有無」画面が表示されたら、△ボタンでメーターの接続状態を選択し、決定ボタンを押します。

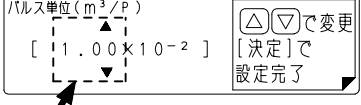


※接続状態の表示は[なし]→[3線]→[2線]の順に表示されます。

- （５）「ガスメータ設定メニュー」で「パルス単位」を選んで、決定ボタンを押します。



- （６）「パルス単位」設定画面が表示されたら、数値部が点滅しますので、△ボタンでパルスレートの数値を入力します。



※パルスレートは、ご使用するパルス付ガスメーターよりご確認ください。
※パルス設定の数値は、△ボタンを押す毎に「0.01」ずつ加算・減算されます。
（1秒以上長押しで0.1ずつオートリビート）
※設定範囲は「0.00～9.99」となり、初期値は「1.00」となります。
※パルス設定の数値は「0.00」には設定しないでください。「0.00」に設定しますと、「760-02」「760-03」エラーとなります。

パルス数値を入力したら、決定ボタンを押します。

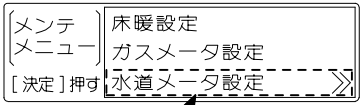
- （７）指数部が点滅しましたら、△ボタンで指数を選択します。

※パルス設定の指数は、△ボタンを押す毎に「1」ずつ加算・減算されます。
※設定範囲は「0～2」までとなり、初期値は「-2」となります。

入力が終わったら、決定ボタンを押します。
これで設定が完了し『セットされました』の音声が出て「ガスメータ設定メニュー」画面に戻ります。

戻るボタンを押して、「メンテメニュー」画面に戻ります。

- （８）水道メーターのパルス設定も（２）～（７）と同様に行ってください。
この場合（２）で「水道メータ設定」を選択します。



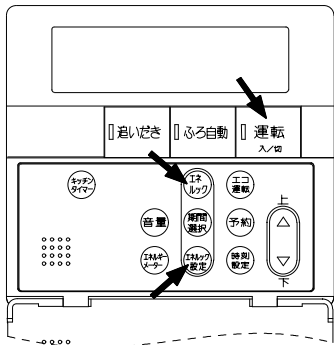
- （９）設定終了後、メンテメニューを終了するには運転ボタンを押してください。

●標準リモコンでのパルス設定方法

※パルスの設定は、以下の表を参照して行ってください。

メーター	項目	内容	設定
ガスメーター	1	パルス1 有無	0：未使用（初期値）
			2：2線式
			3：3線式
水道メーター	2	パルス1 単位	設定範囲：0.00～9.99×10 ⁻² (m ³)/パルス 初期値：1.00×10 ⁻²
			0：未使用（初期値）
			2：2線式
水道メーター	3	パルス2 有無	0：未使用（初期値）
			3：3線式
			2：2線式
水道メーター	4	パルス2 単位	設定範囲：0.00～9.99×10 ⁻² (m ³)/パルス 初期値：1.00×10 ⁻²
			0：未使用（初期値）
			2：2線式

- （１）台所リモコンの画面表示が消えていることを確認してください。
画面表示が点灯している場合は、運転スイッチを押して、消灯させてください。



- （２）リモコンの扉を開き、エネルギーボタンとエネルギー設定ボタンを5秒以上押し続けると、「ユーザー設定モード」が表示されます。

- （３）「ユーザー設定モード」に入ると、時の位にユーザー設定モードの項目番号が点滅表示され、分の位にその時点でのパルス有無設定の番号が点灯表示されます。

※この時に△ボタンを押すと、「1～4」までの項目番号を切り替えます。

ここでは、ガスメーターの設定を行いますので、「1」を選択して予約ボタンを押します。

- （４）続いて、分の位の番号が点灯に変わり、パルス有無設定を表す分の位の番号が点滅します。

※この時に△ボタンを押すと、「0」⇄「2」⇄「3」と設定を切り替えられます。（初期値は「0」となります）

パルス付ガスメーターが3線式の場合は、「3」を選択して予約ボタンを押します。

- （５）つぎに、項目番号「2」の画面が現れます。ここではガスメーターのパルスレートの入力を行うので、そのまま予約ボタンを押します。

- （６）続いてパルスの数値入力部が点滅します。

※パルスレートは、ご使用するパルス付ガスメーターよりご確認ください。
※パルス設定の数値は、△ボタンを押す毎に「0.01」ずつ加算・減算されます。
（1秒以上長押しで0.1ずつオートリビート）
※設定範囲は「0.00～9.99」となり、初期値は「1.00」となります。
※パルス設定の数値は「0.00」には設定しないでください。「0.00」に設定しますと、「760-02」「760-03」エラーとなります。

パルス数値を入力したら、予約ボタンを押します。

- （７）指数部が点滅したら、△ボタンで指数を選択します。

※パルス設定の指数は、△ボタンを押す毎に「1」ずつ加算・減算されます。
※設定範囲は「0～2」までとなり、初期値は「-2」となります。

指数の値を入力したら、予約ボタンを押します。

予約ボタンが押されると、画面表示の項目番号が「3」（水道メーターの設定）へ切り替わり点滅します。

- （８）水道メーターのパルス設定も、（３）～（７）と同様に行ってください。

- （９）全ての入力が終わったら時刻設定ボタンを押します。
これで設定が完了し、数値が変更された場合は『セットされました』の音声が出て、ユーザー設定モードを終了します。

3．試運転

【電気の試運転】

- （１）各リモコンのエネルギー表示方法に沿って、電気の「使用量」を確認する画面を開きます。

- （２）そこで分電盤の各層の負荷を作動させて、電気の使用量の数値が増加することを確認します。

※表示中に一定時間操作がない場合は表示が終了します。
（エネルギー表示方法参照）
その場合は再度エネルギー表示の操作を行ってください。

【ガス・水道（湯）の試運転】

※試運転はパルス付ガスメーターとパルス付水道メーターの両方を接続している場合は両方を、どちらか一方を接続した場合はその一方のみに行います。
パルス付メーターを接続していない場合は、試運転の必要はありません。

- （１）試運転を行う前に、パルス付ガスメーターとパルス付き水道メーターの使用量（指針値）を確認して控えます。
※各リモコンの「エネルギー表示方法」を参照。
- （２）同様にリモコンのエネルギー表示で、ガス・水道（湯）の「今日の使用量」を確認して控えます。
※各リモコンの「エネルギー表示方法」を参照。

- （３）暖房運転や湯はりなどで、ガスと水道（湯）を使用します。また給湯することによってガス・水道（湯）を使用する場合は、最大能力で5～6分燃焼（給湯）させます。
※パルスの設定にかかわらず、0.1m³以上給湯します。

- （４）給湯機機器の燃焼を止めて、パルス付メーターの使用量と、リモコンのエネルギー表示のガス・湯（水）の「今日の使用量」を再度確認して控えます。
※確認方法は（１）（２）と同様。

- （５）給湯機機器の燃焼前後に確認した、パルス付メーターとリモコン表示の積算量の変更値が、ほぼ合っていることを確認します。
※値に大きなズレがある場合は、パルスレートの設定不良や配線の断線・誤配線を確認して、再度（１）～（４）の動作を行い積算量の変更値を確認します。

●高機能リモコンのエネルギー表示方法

- （１）運転スイッチを押して、リモコンを表示させます。

- （２）リモコンの扉を開き、エネルギーボタンを押して「エネルギーメニュー」画面を開きます。

- （３）「エネルギーメニュー」画面が開いたら、△ボタンで「ガス・水道・電気」のいずれかを選択して決定ボタンを押します。
今回は例として「電気」を選択します。

※試運転時に確認したい使用量の表示は、ここで切り替えます。

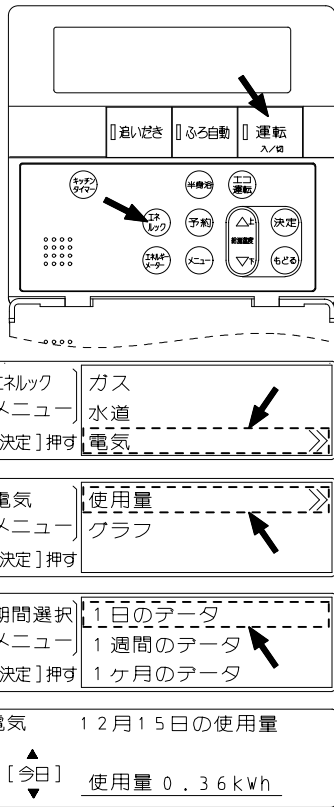
- （４）「電気メニュー」画面が開いたら、△ボタンで「使用量」を選択して決定ボタンを押します。

- （５）「期間選択メニュー」画面が開いたら、△ボタンで「1日のデータ」を選択して決定ボタンを押します。

※表示中に3秒以上操作がない場合は、表示が終了します。その場合は再度（２）～（５）の操作を行ってください。

- （６）「使用量」画面が開いたら、各試運転に応じて使用量の数値を確認します。

- （７）ガスと水道の使用量も、（２）～（６）の操作を行い確認します。



●標準リモコンのエネルギー表示方法

- （１）運転スイッチを押して、リモコンを表示させます。

- （２）リモコンの扉を開き、エネルギーボタンを押して「エネルギーメニュー」画面を開きます。

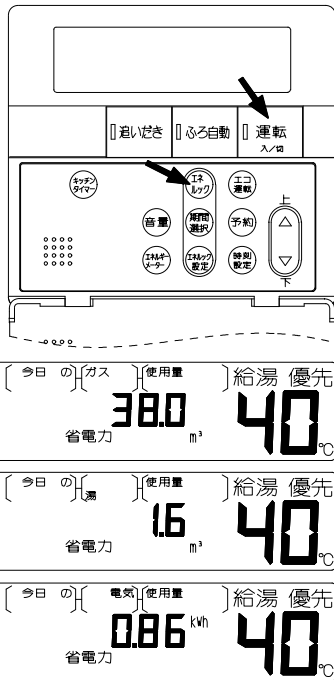
- （３）「エネルギーメニュー」画面が開いたら、試運転で必要とする「ガス・湯・電気」のいずれかを選択します。

※エネルギーボタンを繰り返し押すことで、使用量の表示を「ガス→湯→電気→C0：」と切り替えることができます。

※試運転で確認したい使用量の表示は、ここで切り替えます。

- （４）目的とする試運転の画面を表示させて、使用量の数値を確認します。

※表示中に1分以上操作がない場合は、表示が終了します。その場合は再度（２）～（３）の操作を行ってください。



●エラー表示について

- （１）パルスレートの設定後にエラーが表示された場合は、以下の手順を行ってください。
①エラー表示を熱源機の電源OFFでリセットします。
②リモコン表示の診断ポイントを参考に、下記故障箇所を調査してください。
③再度試運転を行い、エラーの発生がないことを確認します。

リモコン表示

表示	サブ表示	故障内容	診断のポイント
760	01	ユニット通信異常	熱源機の接続線
760	02	ガスメーターパルス未検知	ガスメーター接続線
760	03	水道メーターパルス未検知	水道メーター接続線

※1、パルスレートの入力値が「0.00」となっていると同様のエラーが発生します。
（2、パルスレートの入力、高機能リモコン「標準リモコン」でのパルス設定方法の（6）を参照してください。）

- （２）通電後にパルスレート設定画面が表示されない場合、あるいは上記診断ポイントで原因が特定できない場合は、本体ラベルにあります【LEDの点灯について】を参照して、本体ウラ面の確認窓からLEDの点灯を確認してください。

本体LED表示

点灯	正常作動
点滅	リモコン配線異常または基板異常
消灯	①電源投入後に未点灯→基板異常 ②点灯後に消灯→通信異常

4．エネルギー履歴データの初期化

※試運転が完了しましたら、エネルギーの履歴のデータを初期化してください。
※お客様がすでにリモコンをお使いの場合は、本操作を行うことでマルチ計測ユニット接続前のデータも一緒に消去されてしまいます。
そのためお客様にその旨を説明し、必要であればエネルギーの履歴データの初期化を行ってください。
※初期化が完了したらデータが消去されていることを確認し、リモコンの運転を「切」にしてください。また必要によってサービスブレーカーを「切」にしてください。

●高機能リモコンのデータ初期化方法

- （１）運転スイッチを押して、リモコンを表示させます。

- （２）リモコンの扉を開き、メニューボタンを押して「メインメニュー」画面を開きます。

- （３）「メインメニュー」画面が開いたら、△ボタンで「エネルギー設定」を選択して決定ボタンを押します。

- （４）「エネルギー設定メニュー」画面が開いたら、△ボタンで「初期化」を選択して決定ボタンを押します。

- （５）「初期化メニュー」画面が開いたら、△ボタンで「履歴初期化」を選択して決定ボタンを押します。

- （６）「履歴初期化」画面が開いたら、実行する場合は[決定]ボタンを押します。

※中止する場合は[もどる]ボタンを押します。

決定が実行されると、[初期化中]→[初期化完了]と画面が変化し、『初期化されました』の音声が出て初期化が完了します。

- （７）初期化が完了すると「エネルギー設定メニュー」画面が表示されますので、メニューボタンを押してトップ画面へもどります。

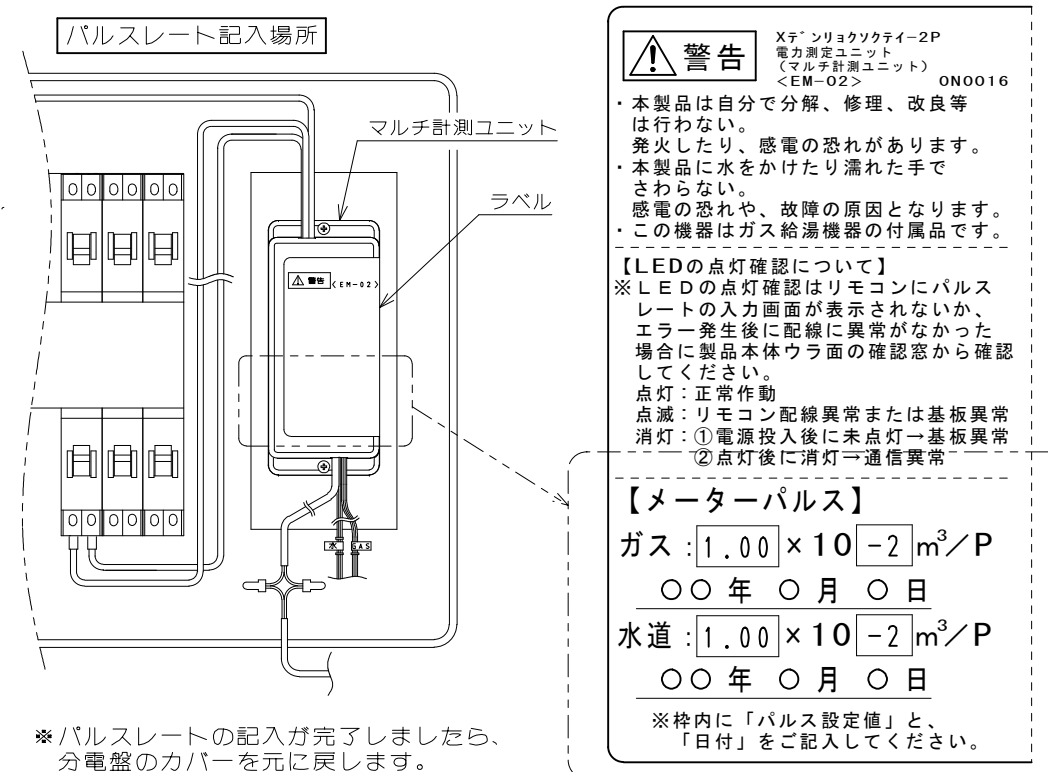
●標準リモコンのデータ初期化方法

- （１）リモコンの表示が、エネルギー表示でないことを確認します。

- （２）リモコンの扉を開き、期間選択ボタンを3秒以上押し続けると『日数初期化されました』の音声が出て、エネルギーの履歴データが消去されます。

9．パルスレートと設置場所の記入

- （１）マルチ計測ユニットに貼られたラベルに、パルスレートの記入欄があります。この【メーターパルス】記入欄へ、設定を行ったガス・水道のパルスレートを記入してください。
（下記に示すのはパルスレートが「10L/P」の場合の記入例となります。）
- （２）同梱の設置場所確認ラベルに、設置機器名（Xデ・ンリクソクタイ-2P、などと、設置場所（分電盤内、ユニット）/ス天井裏、など）を記入し、熱源機側のリモコンコード（端子台付近）へ巻くように貼り付けてください。



※パルスレートの記入が完了しましたら、分電盤のカバーを元に戻します。

製造元

パーパス株式会社

〒417-8505
静岡県富士市西柏原新田201

※ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または最寄りの当社営業所、テクニカルセンターへお問い合わせください。